

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 7月 6日 更新

事務事業名		水酸化促進助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	水道局	課長名	水野 孝春
	施策	10	水環境の保全			所属課	上下水道課	担当者名	主事 松岡 綾
	基本事業	30	水質の浄化			所属班	庶務料金班	(内線)	1164
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	下水道法、下水道条例		
	下水	1	1	1	10229		成果優先度評価結果 : ② コスト削減優先度評価結果 : -		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	①水洗便所等を改造し公共下水道等に接続された方を対象に水洗便所改造費の助成を行う…改造工事費の6%以内、及び便器1器当り6千円 ※限度額6万円(百円未満切捨)、②排水設備設置工事費の2/3以内※限度額30万円(百円未満切捨)1回限り排水設備費助成を行う…改造等工事費に対する助成金、③生活扶助世帯に対する水洗便所等の助成を行う。※限度額25万5千円下水道事業を開始と同時に水洗化率向上を目的に旧団体各々で開始した。未接続及び新規下水道管理設による下水道利用者の増加は、ピークを越えているので、増加率は減少傾向にある。
【業務の流れ】	下水道接続者に対する助成金、補助金の申請受付、審査、決定通知作成・発行、支払事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	下水道法で下水道接続は、供用開始後3年以内と義務づけられているので、それに沿って助成制度は基本3年以内の工事を対象としているが、その制限の撤廃を求める住民の声はある。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
・水洗便所改造費、排水設備助成金にかかる事務手続き	・水洗便所改造費、排水設備助成金にかかる事務手続き	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 助成制度利用件数		助成金制度対象者の減に伴う補助金の減。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 世帯	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・毎年4月1日現在で、処理区域内で下水道に接続していない世帯	→ ア: 処理区域内の未接続世帯	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 世帯	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・下水道水洗化(下水道への接続)率の向上	→ ア: 未接続世帯の内接続した世帯	
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
助成金等を予算化し、水洗化戸数を増加させるために設定する。		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
①活動指標	ア	件	15	24	30	16	30	20	20	20	
②対象指標	ア	世帯	1,068	800	640	891	640	640	650	650	
③成果指標	ア	世帯	65	60	70	42	40	30	20	10	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	1,437	1,006	1,950	940	1,800	1,950	1,950	
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	(A)事業費計	千円	1,437	1,006	1,950	940	1,800	1,950	1,950	1,950
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5	5	5
		延べ業務時間	時間	340	223	230	165	230	230	230	230
(B)人件費計	千円	1,353	918	947	666	947	947	947	947		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,790	1,924	2,897	1,606	2,747	2,897	2,897	2,897		

事務事業名	水洗化促進助成事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 経済事情から、助成事業があっても接続費用を捻出できない世帯が残っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 前年同様に目標設定してはいるものの、経済事情の影響により、目標達成は厳しいと思われる。常に訪問等により啓発を図る。	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 下水道未接続の理由は、大多数が経済的理由、家屋の老朽化で、新・増築を契機に接続されるのがほとんどである。水洗化をすれば生活環境が向上し快適な生活がおくれることなど、継続的にPRに努め、助成制度を紹介して接続を推進する。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 水洗化促進を目的とした助成制度は類似事業はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 廃止前に水洗化した住民との待遇の差があるので住民感情からも水洗化促進に悪影響が出る。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 助成申請者の審査等必要最小限度で運営しているので、これ以上改善の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 供用開始後3年以内の水洗化を義務付けており、下水道法に沿った制度なので公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 排水設備工事指定工事店にも協力してもらい啓発も十分に行われており役割分担は適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

①水洗便所の改造は費用負担が伴うため、経済事情や住宅事情等により接続に理解をしてもらえない世帯もある。②水洗便所改造助成金は供用開始後3年間のみ有効であるため、早めの啓発が必要である。
--

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 経済事情の影響により、目標達成は厳しいと思われるが、常に訪問等により啓発を図る。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 訪問による啓発を行っても経済的事情による未接続世帯への根本的な問題解決にはならない。																						